

## 2年次選択科目 皮膚科臨床研修プログラム

### 1. 研修施設

獨協医科大学病院

### 2. 研修期間

原則として3か月間

### 3. 指導体制

指導責任者： 籾 持 淳 教授

主任指導医： 林 周 次 郎

### 4. 研修内容

- 1) 外 来 指導医（教授、准教授）の補助医として、外来診療を行い、基本的な診断学・治療学を学ぶ。
- 2) 病 棟 指導医のもとに、入院患者の受け持ち医として診断計画・治療計画をたて、実践する。皮膚外科手術を学ぶ。
- 3) カフェルス等 毎週木曜日に行われる臨床および組織カンファレンスに出席し学習する。

### 5. 研修目標

総合目標	一 般 目 標 (G I O)
	皮膚科の診断学・治療学の基礎を学ぶ
	到 達 目 標 (S B O)
	皮膚疾患の臨床診断学を学ぶ
	皮膚科の検査法を学ぶ
皮膚病理学組織学的・免疫学的診断学を学ぶ	
皮膚外科学を实践する	
皮膚科治療学を实践する	

基本的診察法①	一 般 目 標 (G I O)
	教授／准教授／講師の診察補助医として外来に参加し、皮膚科の基本的診察法を習得する
	到 達 目 標 (S B O)
	皮膚疾患の診断学・治療学の基礎を学ぶ
	ダーモスコピーなど皮膚科診断学に必要な検査について学ぶ
真菌症の基本（カセイカリ鏡検など）を習得する	
臨床写真撮影の基本を習得する	

基本的診察法②	一般目標 (GIO)
	皮膚科学外来担当として、診断と治療に必要な知識を習得する
	到達目標 (SBO)
	皮膚疾患の軟膏処置を実践する パッチテストを実践する 皮膚科理学療法 (冷凍凝固法・PUVA療法など紫外線療法) を実践する 皮膚生検の基本を学び、実践する

基本的診察法③	一般目標 (GIO)
	病棟にて入院患者の診断と治療に必要な知識を習得する
	到達目標 (SBO)
	必要な諸検査を実施し、診断を確定する 治療計画をたて、実践する 皮膚外科手術に助手として参加する

カンファレンス	一般目標 (GIO)
	カンファレンスに参加し、的確に情報を交換して問題に対処できる
	到達目標 (SBO)
	臨床カンファレンスで臨床写真を用いて皮疹の観察法、皮膚科的診断学を学ぶ 病理組織カンファレンスで、皮膚病理組織診断学の基礎を習得する

#### 6. 経験が望まれる疾患

湿疹・皮膚炎群 (接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎・貨幣状湿疹)、蕁麻疹 紅斑症 (多形紅斑、結節性紅斑) 中毒疹・薬疹 水疱症・膿疱症 (天疱瘡・類天疱瘡・掌蹠膿疱症) 皮膚腫瘍 (ボーエン病・基底細胞癌・有棘細胞癌・悪性黒色腫など悪性腫瘍含む) ウイルス性疾患 (尋常性疣贅・水痘・带状疱疹・単純性疱疹・伝染性軟属腫)	細菌性皮膚疾患 (せつ、伝染性膿痂疹、丹毒、蜂窩織炎など) 熱傷 炎症性角化症 (尋常性乾癬・扁平苔癬) 膠原病 皮膚真菌症 (白癬症、カンジダ症・癬風) 疥癬
--	---

## 7. 研修に関する週間スケジュール

	午 前	午 後
月	入院手術研修	外来手術・准教授回診
火	外来研修（教授）	外来手術・病棟研修
水	病棟研修	外来手術
木	外来研修（教授）	教授回診・臨床・組織カンファレンス
金	病棟研修	外来手術